

Beaver® Safety Knives KOJO

A Legacy of Precision and Safety

ビーバービジテックインターナショナルジャパン

ビーバー ブレード 安全機構付眼科用ナイフ

セーフティハンドル 弧状ブレード



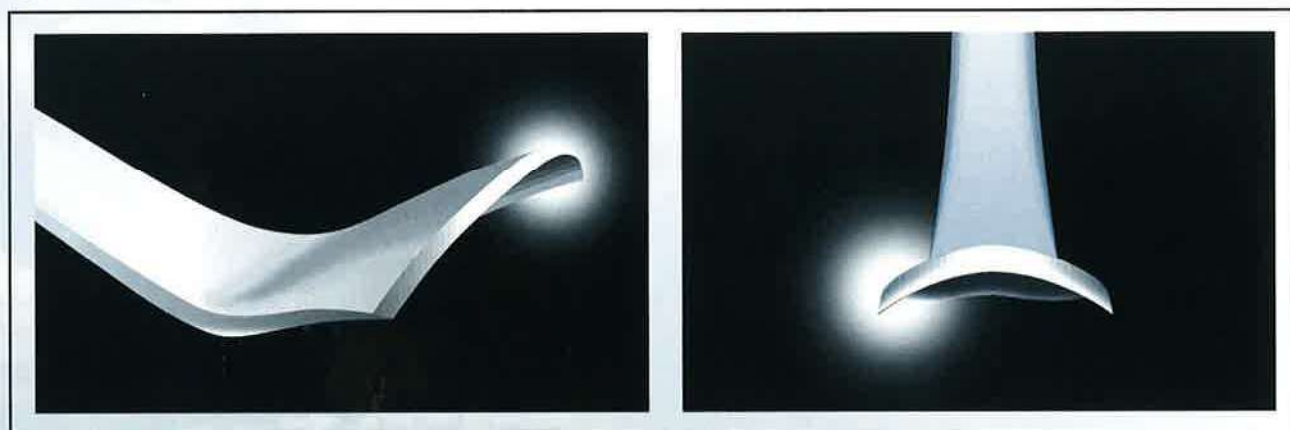
セーフティハンドル 弧状ブレード

弧状ブレードは、角膜小切開用および強角膜一面切開用に開発された、新しいタイプのスリットナイフです。

弧状ブレードが安全機構付き製品として生まれ変わり、
新たに Co-axial Phaco用 2.5mmの規格が加わりました。

- より丈夫な切開創口
- より確実な自己閉鎖
- IOLインジェクターの操作性を考慮した設計

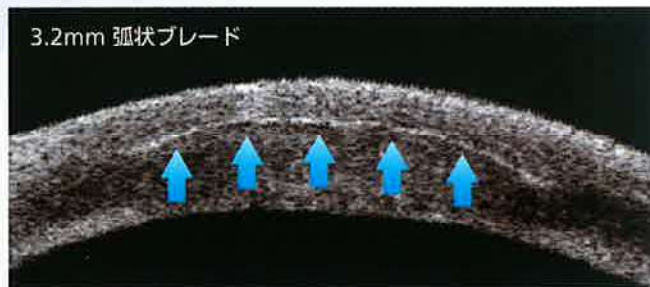
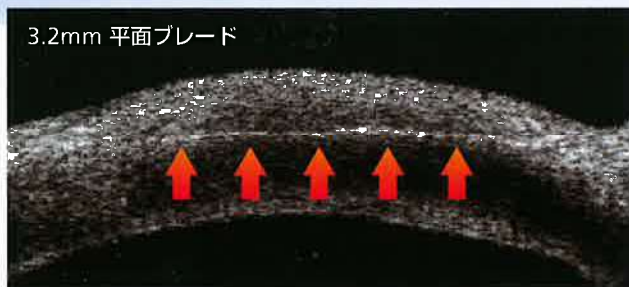
● 製品形状



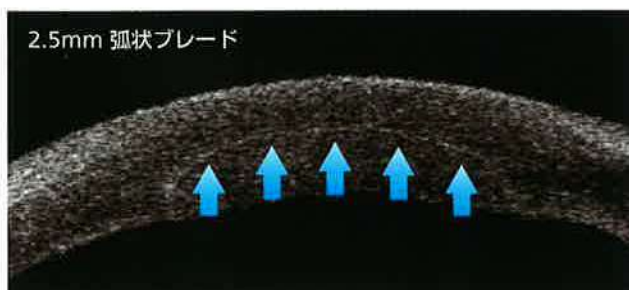
ドーム型の角膜に対し、弧状の切開創口を作製するため、フェイコチップやIOLインジェクターなど、立体的な器具が挿入されてもダメージを受けにくく、より確実な自己閉鎖を得ることができます。さらに、角膜中心部への影響がほとんどなく、術後乱視の発生が有意に減少します。

古代からの建築物にはアーチ状のものが多く、耐久性も優れている点に注目し、角膜切開にもアーチ状の切開創を造ることで角膜の耐久性を向上できないかとの発想で弧状ブレードが生まれました。

● 術後の創口状態 (前眼部光干渉断層計による角膜断面像)

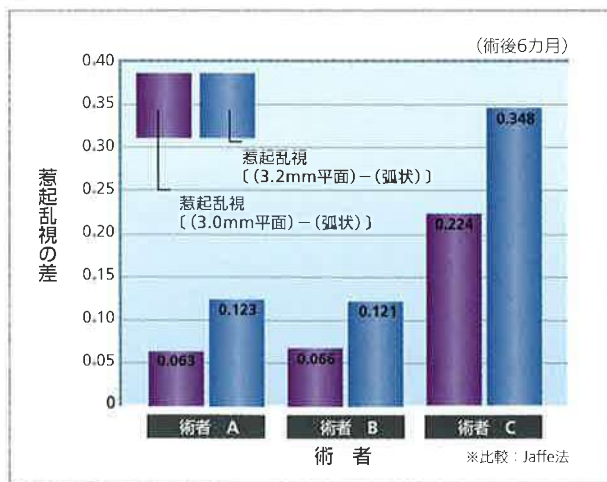


平面ブレード (左) と弧状ブレード (右) の創口状態の比較。弧状ブレードでは断面もアーチ状になっていることが確認できます。



術後の創口状態。より確実な切開面の接着を確認できます。

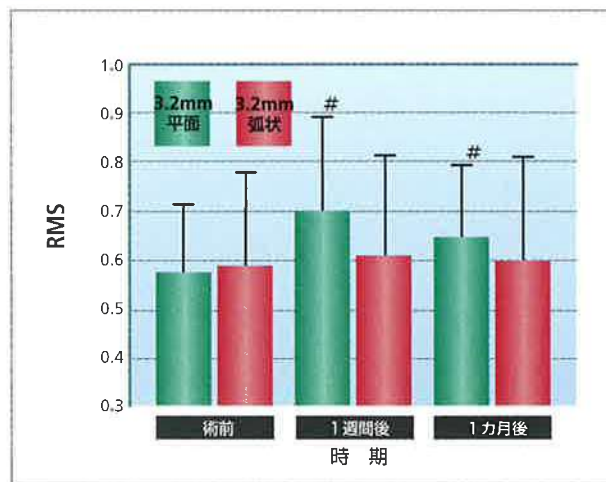
● 平面ブレードと弧状ブレードの惹起乱視の差



平面ブレード使用患者群と弧状ブレード使用患者群の白内障術後6ヶ月の惹起乱視の差を示したデータです。術後の惹起乱視の大きい術者ほど、弧状ブレード使用の手術有効性が高まる可能性が示唆されています。

※データ: 術者A: 599眼, 術者B: 167眼, 術者C: 78眼の比較
データ収集: 社会保険中京病院 眼科

● 高次収差



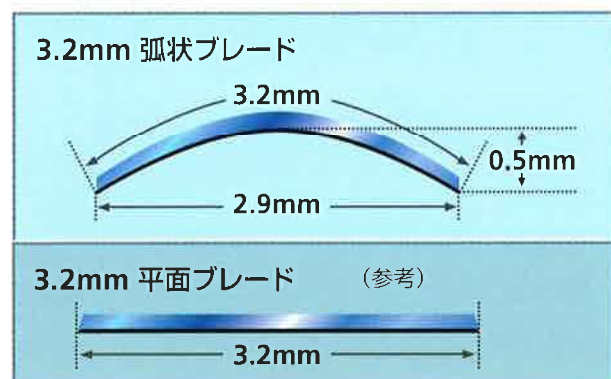
平面ブレード使用患者群と弧状ブレード使用患者群における白内障術前後の角膜径6mmにおける高次収差の比較を示したデータです。平面ブレード使用患者群に比べ、弧状ブレード使用患者群で高次収差の術前術後の変化が少なく、角膜に与える影響が小さいことが示唆されています。

参考文献:

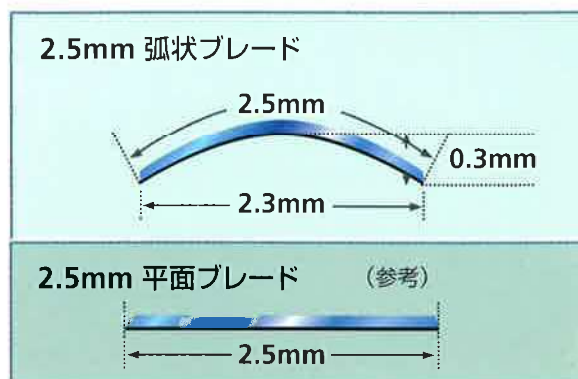
- 1) 渡辺三訓, 市川一夫: 弧状ブレード 新しい眼科15 (8) : 1109-1110, 1998
- 2) 市川一夫, 加賀運志, 渡辺三訓, 内藤尚久, 斉藤裕: 新しい弧状ブレード 第22回日本眼科手術学会: V-1-28, 1999年1月29日

規格

弧状ブレード (No.373032) は、3.2mmマットフィニッシュのスリットナイフを高さ0.5mm、幅2.9mmの弧状に折り曲げて作製しています。



弧状ブレード (No.373025) は、2.5mmマットフィニッシュのスリットナイフを高さ0.3mm、幅2.3mmの弧状に折り曲げて作製しています。



セーフティハンドル 弧状ブレード

カタログ番号	製品名	製品仕様	包装単位
373032	セーフティハンドル 弧状ブレード	3.2mm 45° ベベルアップ	10 本/箱
373025	セーフティハンドル 弧状ブレード	2.5mm 45° ベベルアップ	10 本/箱

販売名：ビーバー ブレード 医療機器製造販売認証番号：223AFBZX00018000

セーフティハンドル 弧状ブレード取り扱い上の注意事項

使用の際は下記の項目にご注意ください。

1. 切開位置

立体的なブレード構造のため、挿入位置が平面ブレードと異なります。

弧状ブレード3.2mmについては、弧の高さが0.5mmありますので、0.5～0.8mm角膜中心部側を切開してください。

弧状ブレード2.5mmについては、弧の高さが0.3mmありますので、0.3～0.5mm角膜中心部側を切開してください。

平面ブレードと同じ切開位置ですと結膜水腫の原因になります。

マーキングをしていただきますと切開の目安になります。

2. 切開創のすれ

トンネルの長さが短い、眼圧が高いと切開創口がずれることがあります。そのため、1.5mm以上 (弧状ブレード3.2mmの場合)、1.2mm以上 (弧状ブレード2.5mmの場合) のトンネルを作成してください。過剰な眼圧を加える必要はありません。

術後、内方弁のすれを確認してください。必要に応じて、Hydrationを行ってください。

3. 創口の拡大

創口の拡大はできません。

IOLの挿入はインジェクターを使用してください。

*切開後、術式の変更により創口を拡大する場合は、別の部位を切開してください。

製造販売元

ビーバービジテックインターナショナルジャパン株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-8 MLC麹町ビル3階

www.bvimedical.com/jp

受注センター Tel. 03-5214-2337 Fax. 03-5214-2417

メール：ContactUs@bvimedical.com